

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本コンサルタントグループ

24-22-12-018-042

A. バックオフィス	018 クラウド活用入門
クラウド・IoT導入	

コースのねらい	クラウドに関する基本的な知識、サービス及び利用方法を理解し、クラウドを活用した業務展開の企画提案の知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
				月 日	時刻
1	■ クラウド	(1)DX化とクラウドコンピューティング DX化の重要性が高まる中でクラウド活用は非常に重要なポイントになっている。現在のDX社会の背景や現状の課題を解説する。また、DXが単なるデジタル化ではなく、これからのビジネスに必要な考え方である点について解説する。	2.0	令和6年 11月22日(金)	9:30~16:30 屋休憩 12:00~13:00
		(2)クラウドの定義 「クラウド」という言葉の明確な定義について広義、狭義の意味と、特徴について説明する。さらに類似する言葉や本質的な特徴について理解する。			
		(3)クラウド活用のメリット【演習あり】 クラウドツールを活用することで何がメリットになるのか。単なる便利なツールではなく、情報の一元化や保全面、セキュリティ面、災害性やテレワークをはじめ働き方そのものが変わる点を説明する。			
(4)クラウドの利用モデル クラウド利用には会社の形態によっていくつかパターンがある。会社規模や業種業態によって異なるポイントについて理解する。					
2	■ クラウドサービス	(1)クラウドサービスの概要【演習あり】 クラウドサービスの概要12項目の代表的なサービスについて説明する。中でも特にテレワークで使えるツールについて説明を行う。	2.0	令和6年 11月22日(金)	9:30~16:30 屋休憩 12:00~13:00
		(2)ストレージサービス オンラインストレージはテレワーク、リモートワークでも基本となる。DropBox、box、Google Driveなど有名なツールとその機能や特徴について解説する。			
		(3)ネットワークサービス ネットワークサービスのうち、テレワーク、リモートワークの基本となるWeb会議ツール(Zoom、Meet、Teamsなど)の使い方や特徴について解説する。特に、企業に導入する場合の選択のポイントについて説明する。さらにその他のコミュニケーションツールの概要について説明する。			
		(4)データベースサービス クラウド型のデータベースサービス(kintone)などの使い方、作り方の概要を解説する。			
3	■ クラウドの利用	(1)クラウドサービスの利用方法【演習あり】 クラウドサービスを会社に導入する場合には、企画、調査、テスト、導入、運用のステップがあるが、特に一般的なITツールと異なり調査・テストが大きなポイントとなってくる。クラウドサービスを導入する場合のステップとミスしないポイントについて解説する。	2.0	令和6年 11月22日(金)	9:30~16:30 屋休憩 12:00~13:00
		(2)ビックデータの活用 ビックデータを活用したサービスの未来について簡単に解説する。			
			合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンコースの為、なるべく分かり易い講義と解説により、受講者の理解度をチェックしながら進行していく。 ・演習以外でもミニワークや受講者への簡易な質問をしながら双方向の研修で実施を進めていく。 ・クラウド活用の基本をテレワーク、リモートワーク課題も想定しながらコースを展開する。 ・社会のDX化、テレワークになることで、クラウドの活用方法、さらに働き方が大きく変化する。そのため、単なるツール知識にとどまらず、働き方改革・生産性向上の視点からも古い慣習から未来の新しい仕事慣習に変化できるように、受講生の意識変化を促すように、これからの働き方や未来志向についても議論してもらう。
---------------	---